



# ニッポン ドクター和の 臨終図巻

長尾和宏(ながお・かずひろ) 医学博士。公益財団法人日本尊厳死協会副理事長としてリビング・ウィルの啓発を行う。映画『痛くない死に方』をはじめ出版や配信などさまざまなメディアで長年の町医者経験を活かした医療と情報を発信する傍ら、ときどき音楽ライブも。

は、頭が悪い人。ほんまのバカです。頭が悪い人。ほんまのバカです。頭が悪い人。ほんまのバカです。

「長尾先生、この人いつになったら死んでくれるの? 長生きさせんといえよ」と真顔で言われたこともありました。臨終の際に、前妻の子と後妻が遺産争いを枕元でしていたこともありまし

もう30年以上も昔ですが、人気番組『探偵!ナイトスクープ』(朝日放送)が、「アホ」と「バカ」の境界線はどこ? という調査をし、アホ・バカ分布図なるものを作って、大変話題になりました。

大学時代を東京で過ごした僕ですが関西人なので無意識に「アホ」と「バカ」を使い分けています。

「アホ」と言うときは、相手に対して親しみがあるとき。一方「バカ」と言うときは、無意識のうち冷たく相手を軽蔑したい気持ちもこめていられるのかもしれない。

アホな人、というのは愛される人でもあります。自分を少し貶(おとし)めて、相手を笑わせさせようとするのは、賢い人。ただ相手を傷つけたり、侮辱することしか笑いをとれない人

## 芸人 坂田利夫

339



関西でアホの第一人者といえはこの人、アホの坂田こと芸人の坂田利夫さん。12月29日に大阪市内で亡くなりました。享年82。死因は、老衰との発表です。

「誰も看取ってくれないのは寂しいから」という理由で、ええ歳をしてマッチングアプリで相手を探している人もいます。しかし、結婚すれば平穏な最期を迎えられると考えるのがそもそも幻想です。

坂田さんの最期は、ご親戚とともに吉本の後輩だった間寛平さんご夫妻が看取られたそうです。寛平さんは以前よりX(旧ツイッター)で、坂田さんの施設に面会に行った日を写真とともに報告しておられました。どの写真も坂田さんは、とても嬉しそうなお顔。

在宅医として、若い奥さんから介護虐待のような目にあっている夫を何人か見てきました。最後の記事は11月27日。寝ている坂田さんに添い寝し、頭を撫でる寛平さんとの2ショットが優しく、微笑ましい。寛平さんに「あ〜りが〜とさん」と言っていて楽しく旅立ったことでしょうか。

# 寛平さんに感謝の旅立ち